

令和6年4月1日

農学研究科研究室 各位

神戸大学農学部同窓会・六篠会

令和6年度の六篠学術奨励賞の募集を下記の要領で行いますので、よろしくご検討ください。

記

## 令和6年度 六篠学術奨励賞募集要領

褒 賞：賞状、副賞(博士前期課程3万円、博士後期課程4万円)

受賞 予定数：農学研究科博士課程前期課程6名、後期課程若干名

応募 資格：令和7年3月に神戸大学大学院農学研究科博士課程前期および後期課程を修了見込の者、および令和6年9月修了者。六篠会会員でなくても応募はできる。ただし、副賞の対象者は会員のみ。

募集 期間：令和7年1月20日(月)～2月7日(金)正午まで(修了論文発表会で順位を決める講座の学生は2月17日(月)正午まで)

提出 書類：六篠学術奨励賞応募申請書(様式2-1)

※様式は六篠会 HP (<https://www.rikusoukai.org/>) からダウンロード可

提出 先〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学農学部同窓会 六篠会事務局  
※農学研究科教員ポスト「六篠会」への投函、直接事務局への持参も可(オフィスアワー月・金10:30-15:00)

選考 方法：令和7年3月上旬に開催予定の六篠会役員会において、農学研究科長から推薦を受けた候補者の中から受賞者を決定する。

選考 結果：選考結果は、令和7年3月中旬ごろまでに農学研究科長および本人に通知する。なお、3月開催予定の卒業・修了祝賀会にて授賞式を行う。

その他：六篠賞を受賞した者は、六篠会報への寄稿ならびに六篠会からの要請があったときは、講演会や会議等で発表しなければならない。また、受賞者に対し、六篠会会報やホームページなどへの原稿依頼を行うことがある。

問い合わせ先：六篠会事務局(E-mail: [rikusoukai@yahoo.co.jp](mailto:rikusoukai@yahoo.co.jp)、電話:078-881-2752)

申請書の記載方法:

1. 六篠学術奨励賞応募申請書(様式 2-1、Word ファイル)を両面印刷して作成する。
2. 「修了後の住所」が決まっていないときは帰省先住所などを記入する。
3. 「修士論文の題目」が英文の場合は和訳を付記する。
4. 「修士論文の概要」は日本語で記入する。
5. 「教育研究活動等の業績」は、修士博士前期課程における業績のみを、原著論文、著書、学会発表(国内外)、その他(特許・プロシーディングスなど)の項目別に以下の記載例を参考に記載し、本人の名前に下線を付ける。
6. 六篠賞の受賞者には、六篠会報への寄稿や講演会や会議等での発表を依頼することがあるので、卒業・修了後でも使用するメールアドレスを記載する。

原著論文、著書、学会発表については査読の有無、学会発表については発表者の名前の前に○印をつけ、ポスター発表または口頭発表を記載する。また、これらの業績に伴う論文賞やポスター賞などを受賞した場合はその旨記入する。

#### ■記載例

##### 【原著論文】

1. Manabu Rikusou, Takashi Hashimoto, Hitoshi Ashida, Shin Nushima & Kazuki Kanazawa. Inhibitory effects of caffeine and its metabolites on intracellular lipid accumulation in murine 3T3-L1 adipocytes. *Biofactors*, 34(4):293-302, 2008 (査読有)

##### 【著書】

2. Takashi Hashimoto, Tomoe Yamada, Masashi, Nagai, Kazuno Yamada, Maki Tanaka, Manabu Rikusou Shimoaki, Jiansheng Long & Kazuki Kanazawa. Wasabi (*Wasabia japonica*) In: *Recent Progress in Medicinal Plants*, Vol. 30, Ethnomedicine: Source & Mechanism (Eds. by J.N. Govil), Studium Press LLC, Houston, TX, USA. (印刷中) (査読有・共著)

##### 【学会発表】

3. ○六篠 学、橋本 堂史、岡本 真弓、永井 雅、奥西 勲、金沢 和樹. 西洋わさび葉由来ケンフェロール配糖体の体内吸収と薬物代謝第二相酵素の活性化効果について. 日本農芸化学会 2009 年度大会、3 月 27 日(金)-29 日(日)、福岡国際会議場・マリンメッセ福岡(福岡)、講演要旨集 p.230(査読無・ポスター発表)
4. ○Manabu Rikusou, Takashi Hashimoto, Mayumi Okamoto, Masashi Nagai, Isao Okunishi and Kazuki Kanazawa. Dietary kaempferol glycoside derived from horseradish leaves was absorbed into the body and activated drug-metabolizing phase II enzymes in mice. 19th International Congress of Nutrition, 4th-9th October, 2009, BITEC, Bangkok, Thailand, Abstract p.33(査読有・口頭発表・Travel Grant Award 受賞)

##### 【その他】

5. 特許:わさび葉成分組成物、これを含む食品および医薬品。(発明者)橋本 堂史、六篠 学、(出願者)金印株式会社、出願日:2008.11.16、特許出願:2008-331315
6. プロシーディングス:Simona Vicas, Manabu Rikusou, Takashi Hashimoto, Takeshi Suzuki, Kazuo Sambongi, and Kazuki Kanazawa. Benalutheh activates drug-metabolizing phase II enzyme. *Proceedings of The 3rd International Conference on O-CHA (Tea) Culture and Science*, CD-ROM, HB-P-703. pp.547-548, 2009 (Feb).